

知的障害をもつ方に、自立、社会参加を目指すことは、第一ですね。  
そのことを支える「摂食のこと」「体の動き」を見直してみませんか。  
早食い？ 偏食？ 食に集中できない？ 両頬内になにか含んでいる？  
食べる姿勢？ 白いご飯しか食べない！ 丸呑み！ その訳は何でしょう？  
長い習慣で学んできたこと、高齢化、重度化、今更どうにもならないでしょうか。

## 「摂食嚥下困難をもつ人への対応を、 見直してみませんか？」

— 摂食指導・専門研修 募集案内 —

特定非営利活動法人

フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会

### <摂食指導・専門研修>

1. 開催月日：2016(平成28)年11月6日(日) 10:00～16:00

2. 会場：ウィリング横浜

(午前) 9F 901 研修室

(午後) 10F 介護実習室II

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内

Tel: 045-847-6666 (代表) (アクセス: 京浜急行/市営地下鉄「上大岡」駅下車徒歩3分)

3. 募集対象者：障害児者、高齢者等の支援、介護、教育、摂食指導、調理等に係る方他。

4. 募集人員：40名 (演習形式のため限定)

5. 参加費：4,500円

6. 申し込み：別紙申し込み用紙により、Faxにて申し込んでください。

※ 参加が決定しましたら、10/24以降、参加決定案内を送付いたします。

7. 研修内容

午前 10:00～12:00

専門研修「摂食嚥下困難をもつ人への対応」—今までの指導事例を振り返って—

講師：芳賀デンタルクリニック

院長 芳賀 定 先生 (歯科医師)

・歯科クリニックで多くの方に治療・指導をされ、全国で活躍されておられます。

午後 13:15～15:45

専門研修「摂食嚥下困難に対する理学療法的視点」

講師：横浜市総合リハビリテーションセンター

理学療法士 永井 志保 先生

(日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)

・理学療法士(P.T)の観点から、摂食指導を見直すとは、どのようなことでしょうか。

※ 2回以上受講されている方で教科書(食事指導ガイドブック)をご持参いただければ、500円引きとします。

担当：松田・繋(つなぎ)

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内

電話：045-311-8742 Fax：045-324-8985

Eメール：[jimukyoku@kenshikyoku.jp](mailto:jimukyoku@kenshikyoku.jp) HP：<http://www.kenshikyoku.jp>

下記に必要事項をご記入のうえ、**FAX(045-324-8985)**もしくは**郵送**にてお申し込み下さい。

締め切り 10月24日（月） 事務局必着

氏名		男・女	20代、30代、 40代、50代、他 ( )
勤務先名称 □障がい □高齢		受講回数	
		教科書	あり・なし
勤務先（自宅）住所 ＜案内書送付先＞	〒		
連絡先 ※希望の連絡方法 ( <input checked="" type="checkbox"/> にチェック)	電話 ( ) FAX ( ) 携帯 _____ <input type="checkbox"/> 携帯・ <input type="checkbox"/> 勤務先・ <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> E-mail:		
職種等	<input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> 施設職員 <input type="checkbox"/> 居宅介護職員 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 看護師等 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
事前アンケート	○ 摂食を介助するに当たって困っていることや課題はありますか。 ご自由にお書きください。※講師への事前質問として使用させていただきます。		
	-----		
	-----		
	-----		
	-----		
	-----		
	-----		
	-----		
	-----		
	-----		
	-----		

※ 締め切り後、案内と参加費の振込用紙を送付します。

※ 申し込み後、開催日 5 日前になっても案内が届かない場合はお問い合わせください。